



今回は、和歌山市駅に直結している「キーノ和歌山」の開業に携わり、現在南海電気鉄道株式会社和歌山事務所所長の杉本さんにお話をいただきました。

面会日：令和5年5月20日

智辯和歌山時代はどんな学生だったのですか

和歌山大学の麓に実家があり、そこから自転車であまみだり、電車で黒江駅まで通っていました。一時期、自転車で直接学校まで通ったこともあり。まさに和歌山市を南北縦断です。



社会人になってから智辯の卒業生と仕事で一緒に働くことはありますか？

智辯の卒業生とは同期はもちろん、同期以外にも縁が繋がることがあります。例えば、卒業生が経営されている企業に弊社のビルに入居してもらったことがあります。なんばパークスのオフィスビルにご入居いただいたこともありますし、キーノ和歌山2階には「平和酒店」さんにご入居いただき、キーノを訪れるお客様に大変好評をいただいております。

また、弊社は加太線という鉄道路線を経営していますが、加太の重鎮にも智辯の先輩がいらっしゃいます。私が中6の時、野球部が夏の甲子園に初出場したのですが、その時投げた右のエースと仕事で一緒になりました。今は和歌山市役所の部長さんです。先日も、有名ハウスメーカーで経営幹部を務める卒業生と話をし

多く、誇らしかったです。逆にそれ以外の科目はとも得手とは言えなかったですね。でも智辯は予備校模試の受験など試験慣れさせてくれるので、本番の共通一次では「マークシートマシク」とでもいうのでしょうか、古文・漢文満点、なんて珍事も経験しました。卒業式で皆勤賞の表彰があったのですが、私は小中高12年間、無遅刻・無欠席・無早退でした。「3年皆勤〇〇」と名前を呼ばれた卒業生から順に立つて行くのですが、「6年皆勤〇〇」で在校生もザワザワし始め、「12年皆勤、杉本吉史、代表・杉本吉史(私)」「ハイ！」と立ち上がった瞬間、式の会場全体がドッと湧いたのを覚えています。

智辯卒業後はどうされたのですか

智辯の頃に受験させていただいた模試の成績がまあまあだったようで、河合塾中津校に無試験で入学し(笑)、1年後、大阪市立大学法学部に入りました。法学部にこだわったのはリーガルマインドを身に着ければ役に立つと漠然と考えていたからです。しかし智辯の頃から歴史好きが高じて、1回生時の基礎ゼミは近現代政治史

を専攻し、さらに担当教授に「君、本格的に研究してみないか？」と誘われ、すこし迷いました(笑)。大学で学ぶ内容は、当時も今も多分に academic (学問至上的) で Vocational (職業指導的) な要素は少ないように感じます。しかし、論理性や社会性が4年間で身に着き、これが社会人になってからの糧になったと感じます。

大学卒業後はどうされたのですか

関西国際空港開港直前の平成5年に南海電気鉄道株式会社に入社しました。弊社は公共交通と不動産の2つを収益の柱とする企業です。当初、私は不動産事業を中心に職歴を重ねました。その中には橋本市の林間田園都市などのニュータウン開発や、駅近のショッピングセンター運営、りんくうタウンにある大阪府の外郭企業へ2年間出向した経験もあります。



なんばパークス

「社長の条件」川村隆さんの著書「ザ・ラストマン」未来予測が当たったな、と思った本ジョージ・フリードマン著「8年予測」和歌山出身さいとう・たかをさんがダイナミズムを劇面で表現「劇画・小説吉田学校」

私は地域密着型の企業に就職しましたが、最近DXにより浸透したオンライン会議で、時差に気を遣いながら海外の方と、片言の英語で話したりする機会もありました。執務室はペーパーレス、フリーアドレスが原則です。服装も写真のようなオフィスカジュアルになり、昔のようなスーツにネクタイではありません。

やはり様々な分野でパラダイムシフトを意識します。参考まで。ヨーロッパの教育制度では vocational が academic と比べて学校としての地位が高い場合があるそうです。国家間を横串するグローバルな就職資格基準があり、例えば経営管理に関する一定レベルの資格を学校卒業時に授与されたなら、即、企業に経営幹部として採用されるそうです。私の職歴をご覧いただくとわかりますが、今までの日本の企業は、新卒採用、企業内養成、勤続20年

「ス」から離れ、企画部門に配属されました。事業のシース(種)を見つけて育てる「新規事業開発」、弊社が有する事業リソースを中期的に大幅に活性化させる「プロジェクト推進」などの部門です。この企画部門で和歌山市駅の活性化も企画・推進させていただきました。鉄道・バスの交通結節点である和歌山市駅に、商業施設「キーノ和歌山」、民間の会社が運営する図書館、新進のホテルを配置することで、市民の皆さまに新しいライフスタイルを提供でき、「市駅のイメージが一変した」との声もいただきます。学生の皆さんの中には、リニューアルした後の和歌山市民図書館をよく利用される方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

今の仕事は？

今は25年近く通った難波の本社を離れ、和歌山事務所の所長をしています。弊社は従前から東京と和歌山に支社機能があり、各々部長級を置いています。東京が監督官庁である国交省のお膝元であるのに対し、和歌山は事業エリアの前線にある事務所です。和歌山市駅の再開発等で今まで築き上げてきた行政等との関係性を活かし、和歌山で現在動き始めている案件について蓋然性を高める「戦略参



キーノ和歌山

謀」の役割が求められていると感じます。

和歌山市出身のアーティストHYDE氏とコラボレーションした特急「HYDEサザン」や黒を基調にした「めでたいでんしゃ」はご存知ですか？社命で実現交渉の最初期を担当しました。HYDE氏とお会いする機会があり、和歌山にお越しの際には、キーノ和歌山をご案内させていただきます。ちなみに平成30年から、毎日新聞の和歌山面に月1回「てくてく南海沿線」というコラムを連載しています。これまた智辯の頃から歴史好きが高じて、ほとんどが南海沿線の隠れた歴史資源に関する記事です。マニアックですが、ほのほのした内容にしています。掲載日は基本、毎月第四水曜日です。宜しければご覧ください。

南海電気鉄道株式会社 和歌山事務所 所長

- 1969年7月生 和歌山県和歌山市出身
1988年 智辯学園和歌山高等学校卒
1993年 大阪市立大学法学部卒



杉本吉史

すぎもと よしふみ

